

2007 年度

科目名 文化財特殊講義V（文書典籍）A	対象学科・学年 文学部文財3年生	担当者 宇都宮 啓吾	
授業テーマ 院政期の聖教と教学			
授業の概要と目標 院政期の聖教と教学との関わりについて、個別に論じていきます。その中で、聖教研究や文化財研究に必要な研究方法や視点を身につけてください。			
評価方法 レポートと平常点（全講義数の2/3以上の出席が前提）で総合的に評価します。 レポートはE-mail（ utunomk@osaka-ohtani.ac.jp 件名：【文化財特殊講義レポート】）で提出すること。			
テキスト 特に指定しません。適宜、プリントを配布します。	著者	出版社	
参考書 特に指定しません。適宜、紹介します。	著者	出版社	
授業スケジュール・内容			
	時間	テーマ	補足
導入	1	オリエンテーション	
講義①	2	『覚禅鈔』を巡る問題 — 『平家物語』 —	『覚禅鈔』『転法輪法』における後二条師通 呪詛の記述と『平家物語』巻一「願立の事」 の記述について
	3		
	4		
	5		
講義②	6	平家納経を巡る問題 — 『源氏物語』 —	平家納経の見返絵作成の背景と当時における 『源氏物語』受容の問題について (平氏を巡る巖島信仰の問題についても付 言)
	7		
	8		
	9		
講義③	10	一切経を巡る問題	諸所で書写された一切経を巡る問題を通した 当時の文化史的諸相について
	11		
	12		
	13		
まとめ	14		
	15	講義全体の総括	講義の総括